



女子サッカー部報告

COMPILATION TOIN

全日本女子サッカー選手権大会

大阪予選で準優勝

関西大会に初出場

第14回大阪女子委員会杯 兼 第30回全日本女子サッカー選手権大会大阪予選は7月5日～7月21日まで行われ、大阪桐蔭高校は1回戦で東住吉総合FCを破った。準決勝でFC VITORIAには勝利したが、決勝は大阪体育大学に敗れ準優勝となった。上位4チームまで出場できる全日本女子サッカー選手権大会関西予選(11月に開催)の切符はつかみ取った。

◇1回戦(7月19日、大阪体育大学)

大阪桐蔭高校 3-0(0-0)東住吉総合FC
〔()は前半の記録〕(60分ハーフ)【得失点】28分柴田、51分佐藤、53分齋藤

負けたら終わる大事な一戦だった。前半から大阪桐蔭がボールを支配していたが思うように点が入らず苦戦した。大阪桐蔭が先制点を決めると、自分達のペースを取り戻し勝利した。

◇準決勝(7月20日、大阪体育大学)

大阪桐蔭高校 2-2(0-1)1-0(1-0)合計 3-2 FC VITORIA(70分ハーフ+延長20分)【得失点】34分、47分失点、58分田中、63分宮本、74分柴田

VITORIAの攻撃をDFの4枚が中心となり守備をしていたが、前半終了間際に失点、さらに後半開始早々に追加点を奪われ苦しい展開となった。後半、大阪桐蔭は硬さが取れたのかテンポのいい攻撃ができるようになり田中由のロングシュート、宮本の終了間際の同点ゴールで追いつき、延長では柴田の逆転ゴールで見事勝利した。これまでこのような苦しい場面で巻き返すことができなかったが、この試合ではよく動いて最後まで粘りを見せた。

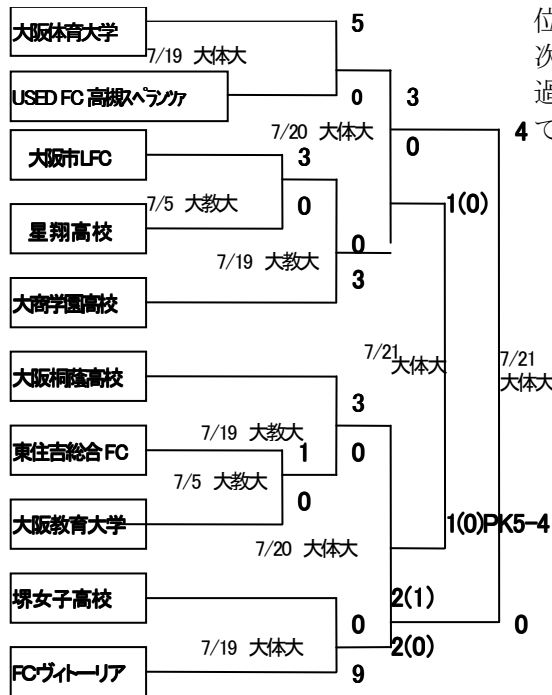
◇決勝戦(7月21日、大阪体育大学)

大阪桐蔭高校 0-4(0-2)大阪体育大学(70分ハーフ)【得失点】25分、27分、50分、62分失点

大阪桐蔭は、大体大の守備によりいつものパスサッカーが出来なかった。大体大は、ボールを奪った後の攻撃への切り替えが早く圧倒され、格の違いを見せつけられた。

第14回大阪女子委員会杯 兼 第30回

全日本女子サッカー選手権大阪予選組み合わせ



- 優勝 大阪体育大学
- 準優勝 大阪桐蔭高校
- 第3位 FC ヴァトーリア
- 第4位 大商学園高校

関東遠征

7月31日から8月6日まで埼玉、静岡に長期遠征を行った。全学年45名が参加し1日目から4日目までは浦和レッズ女子チーム、清水第八(L2所属)などの強豪チームや磐田市、浜松市の地元チームと試合を行った。浦和ではレッズ対バイエルンミュンヘ

ンの試合を観戦し、5日目から富士ワイズメンズカップに参加した。

富士ワイズメンズカップ

全国高校選手権の後、強豪チームが富士市に集まって行われる大会。全国から48チームが参加した。

ワイズメンズクラブは、世界68か国で活動する国際奉仕団体で、ボランティアリーダーの育成や野外キャンプ支援などを行っており、富士市と協力してこの大会をサポートしている。この大会は、今後チームを引っ張る若手を中心に大会に挑んだ。1次リーグは6チームずつの8グループによるリーグ戦を行い(25分1本の変則マッチ)、同順位による順位トーナメントを行った。大阪桐蔭は1次リーグにおいて2勝2敗1分で3位通過、3位トーナメントでは1位となり、全体4では17位だった。

★1次ラウンド第1～5戦(25分1本)

(8月4日、旭化成グラウンド)

大阪桐蔭 0-0 千葉県立幕張総合高等学校(千葉県)

大阪桐蔭 0-1 聖カピタニオ女子高等学校(愛知県)【得失点】20分失点

大阪桐蔭 2-0 江戸川女子高等学校(東京都)【得失点】20分宮口、23分寺本

大阪桐蔭 0-2 健康福祉大学高崎高等学校(群馬県)【得失点】17分、19分失点

大阪桐蔭 2-0 磐田東高等学校(静岡県)【得失点】16分寺本、18分新町

★順位トーナメント1回戦(50分ゲーム)

(8月5日、富士緑地グラウンド)

大阪桐蔭 1-1(PK 4-2) 横浜国際女学院翠陵高等学校(神奈川県)【得失点】29分失点、30分寺本

★順位トーナメント準決勝(50分ゲーム)

(8月5日、富士緑地グラウンド)

大阪桐蔭 2-1 東北高等学校(宮城県)【得失点】17分失点、42分松井、43分宮本

★順位トーナメント決勝(50分ゲーム)

(8月5日、富士緑地グラウンド)

大阪桐蔭 1-0(1-0) 滋賀県立八幡商業高等学校【得失点】12分佐藤

【速報】

全日本女子ユース(U-18)選手権大会大阪予選決勝(8月30日関大高槻G)で大阪桐蔭高校が大商学園を1-0で破り優勝。大阪代表として関西大会に出場する。詳しくは次号で。